

インターバンクの声（2017 年 8 月 28 日）

9 月からのバランスシートの縮小開始や年内の利上げについての言及があるのではと注目されたジャクソンホールでのイエレン FRB 議長の講演だったが、議長は最後まで金利に関する手掛かりを与えることはなかった。議長がタカ派的な発言をして来るのではないかと市場の思い込みが強かったこともあって、講演後の市場ではドルが主要通貨に対して 50～60 ポイントほど下落してしまった。

言及なしコール「追加利上げはなし」ではないだろうが、追加利上げ観測が大きく後退してしまったとあっては、このドル売りの反応は仕方ない。イエレン議長の講演後には米長期金利も小幅ながら低下している。

一方、もう一つの注目だったドラギ ECB 総裁も金融政策に言及することはなかったが、ユーロ高に懸念を示さず、景気回復の堅調さを確認したこともあって、買われていたユーロは反落することなくニューヨーク市場を終えた。

今週は米国の第 2 四半期 GDP 改定値や 8 月の雇用統計の発表などがあり、指標結果と市場の反応を見ながら先行きの判断をすることになりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。